

# ふくだクリニック 医療情報

病院は、病気になってから行くところだと思ってませんか？

こんにちは、ふくだクリニック院長の上手です。

病院は、病気になってから行くところと思っていませんか。脳疾患(脳卒中)では、病気が発症してからでは手遅れになることが多いです。脳卒中の危険因子として糖尿病・高血圧・高コレステロール血症などの慢性疾患があげられます。これらの病気を自覚症状の出ないうちに治療することが大病にならない秘訣です。特に、ご家族に脳卒中にかかった方がおられますと、さらに危険が高まります。一度脳の検査をされることをおすすめします。当クリニックでは、早めの検査が皆様の健康を守ると考えております。元気で明るいスタッフがお待ちしています。なんでもお気軽にご相談ください。

ふくだクリニック院長  
上手 康嗣 かみて やすし



## ふくだクリニック



### 脳神経外科

脳の疾患は大きく分けて、クモ膜下出血、脳梗塞といった脳血管障害。アルツハイマー型認知症、パーキンソン病といった変性疾患、脳腫瘍、頭部外傷等があります。いずれも症状が出ると完全な回復は困難で、重篤な後遺症を残します。脳疾患の治療の基本は、症状が出現する前の早期治療か早期予防です。当クリニックでは、最新の高速ヘリカルCTを用いて、脳実質や脳血管の精査を行い、病気の予防に努めています。



### 内科・外科

脳血管障害(脳卒中)の原因として、糖尿病・高コレステロール血症・高血圧等の生活習慣病が挙げられます。これらの疾患は、自覚症状に乏しいため、あまり真剣に治療されないのが現実です。まずは血液検査でこれらの疾患の有無を検査する必要があります。当クリニックでは、成人病予防のための健診も行っておりますので、お気軽にご相談ください。



### リハビリテーション科

リハビリを担当する専任の理学療法士がいます。脳卒中中後や骨折後、またパーキンソン病や五十肩、膝関節症などに対する運動療法、また腰痛・膝痛をはじめとした痛みに対する物理療法を行います。

## FUKUDA CLINIC



お体のことで気になることがあれば、お気軽に「ふくだクリニック」へお越しください。

脳神経外科、内科、外科 医療法人ふくだクリニック  
リハビリテーション科

〒732-0029 広島市東区福田5丁目1175-1  
TEL:082-883-0600 FAX:082-883-0606

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~13:00	○	○	○	休診	○	○
15:00~18:00	○	○	○	○	○	○

[ 休診日 ] 木曜日・日曜日・祝日

- バスで → 広島バス「小河原車庫」行き「大平」バス停下車、徒歩3分
- お車で → 広島東ICより約5分 → 広島高速1号線福田出入口より約5分

ふくだクリニック



# ふくだクリニック医療情報

## 日本人の死亡原因の3位<sup>※</sup>は、脳血管疾患！ 30代でも突然起きる「若年性脳梗塞」も。

体に異常はないし、「脳梗塞とは無縁だ」と思っている人がほとんどだと思います。  
しかし、近年働き盛りの30～40代の脳梗塞患者も少なくないのが現実です。  
自宅で、会社で、隠れ脳梗塞を簡単チェックすることができます。  
ご友人同士や夫婦間、ご家族の間で一緒にチェックしてみましょう。

※厚生労働省「平成22年人口動態統計の概況」より

TAKE FREE

発行：脳神経外科、内科、外科、リハビリテーション科  
ふくだクリニック



### バランステスト

- ①かかととつま先をそろえて立ちます。
- ②両手を左右横にまっすぐ広げ、目を閉じて10秒間静止します。

10秒間静止できない場合は…  
隠れ脳梗塞(無症候性脳梗塞)かもしれません。  
まずは、脳のCT検査をおすすめします。

あなたは大丈夫!?  
**10秒**でできる!  
隠れ脳梗塞  
**Check!**

### ぐるぐるテスト

- ①白い紙に黒いペンで5mm間隔のうずまきを5周書く。
- ②制限時間10秒以内に、うずまきの図に赤いペンで新たにうずまきを両サイドの線に触れないように書き足してください。

ご自分の書いたうずまきに注目!  
自分の書いた線とうずまきの図の線が2ヶ所以上重なったり、はみ出している場合は隠れ脳梗塞(無症候性脳梗塞)かもしれません。  
まずは、脳のCT検査をおすすめします。

手遅れにならないうちに検査をしましょう! 脳疾患は、早期発見で予防! 詳しくは裏面へ

# News

FUKUDA CLINIC

2013年秋、ふくだクリニックに  
新しい3D CTスキャンが導入されました!



よりクリアな高精度画像撮影、  
被ばく線量による身体の負担低減が  
実現した理想のCTスキャン。

1回のスキャンで高精度な画像診断を可能に。

当クリニックで、2013年秋に導入したCTスキャンでは、1秒未満の高速回転とサブミリスライスにより高精細な画像撮影が可能になりました。これから現場で求められる診断の早さと正確な診断。そのために必要となる数々の機能を搭載したCTスキャンです。さらに、検査時間の短縮により、患者様の拘束時間短縮にもつながり、より気軽に検査を受けやすくなりました。脳の血管を映し出す造影剤を使用した3次元画像での撮影も可能になり、脳梗塞の原因となる大動脈や頸部の動脈硬化も詳しく調べることができます。

被ばく線量を低減し、身体への負担も低減へ。

必要最低限の被ばく線量での検査を行うため、患者様の身体への負担を大きく低減させることができます。さらに、頭部CTだけでなく、胸部や腹部の撮影も可能になりました。大腸がん、肺がん、肝臓がんをはじめとする、胸部疾患、動脈瘤、脳梗塞、など様々な疾患を早期発見することができます。万が一、脳疾患が見つかった場合、専門の当クリニックにて引き続き治療を行うことができます。また、胸部や腹部に再検査が必要と判断した場合でも、専門のドクターと提携して継続治療を行いますので、ご安心ください。